

運審連調査研究委員会 公民館視察訪問

訪問先

一乗公民館
東新町 1-21 TEL:43-2001
世帯数 292 人口 681
(2024.12.1 現在)

訪問日

令和6年11月5日(火)
14:00 ~ 16:00

参加者

11名



当日の流れ

- ・運審連 清水副会長(調査研究委員会委員長)あいさつ
- ・一乗公民館 小林館長 一乗地区の概要について
7つの自治会があり、古い寺院や山城など地区の歴史や自然をいかした公民館事業を行っている。一乗谷朝倉氏遺跡、博物館の行事にも参画。10月の全国育樹祭では地元として皇族をお迎えし、お手入れ行事を見学することができた。
- ・一乗公民館 吉川委員長 元一乗ふるさと交流館の公民館使用について
一乗ふるさと交流館は中山間地域総合整備事業として建設され、平成16年の福井豪雨で元の公民館が浸水被害を受けたことで、交流館と公民館の併用が協議される流れとなった。何度も話し合っ地元の意見を集約し、公民館移転転用に伴う仕様要望のとりまとめを行った。令和3年3月に改修工事が完了し、4月に一乗公民館が移転。コロナ禍のため関係者のみで竣工式を行った。生涯学習・地域交流の場だけでなく、災害時の対応施設としての活用も期待されている。
- ・質疑応答・意見交換
- ・館内見学
- ・集合写真撮影

歴史遺産と地域活動

運審連副会長

中藤島公民館 運審委員長

清水 正寛

令和6年度の調査研究委員会は、朝倉氏遺跡を地元を持つ一乗公民館を視察しました。公民館の外観は、「ふるさと交流館」を改修したこともあって、観光施設のような柔らかな印象を受けました。視察の概要は次の通りです。

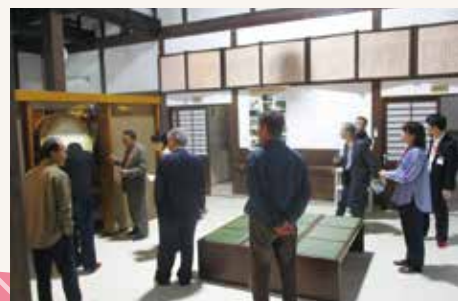
1 教育事業では、青少年教育、家庭教育、伝統文化、福井学など7つのコースが設けられていますが、その多くに体験型、交流型のものが多く取り入れられていました。

また、まちづくり事業では、三峯城跡探索ウォークや夏祭りへの参加など、地区の歴史遺産を生かした取り組みがなされています。

2 館内は、談話室や外とフラットにつながった炊事室、研修室があり「ふるさと交流館」の利点が活かされており、利便性の高さを感じました。

3 玄関ホール右上には、遺跡から発掘された土器片や寺・神社の創建、朝倉氏の歴史などから縄文時代から現在に至るまでの地区の年表が掲示されており、歴史の深さを物語っていました。

公民館では、教育事業やまちづくりへの支援、場所の提供等を通じ、地域の人々が対話・交流する場を設け、少子化の影響を受ける地域において、コミュニティの中心としての役割を果たしていると感じました。



参加者からの感想

木田公民館 運審委員長 田中 元彦

今回の一乗公民館訪問では、小林館長の郷土愛に満ちた熱意ある公民館運営のお話と「元一乗ふるさと交流館」の威厳のある立派な建物に感銘しました。公民館活動では、歴史と自然の調和した活動が盛んにおこなわれている様子が小林館長の説明でわかりました。館内には、館の各種事業の様子や成果を表す展示物がたくさんあり、日頃の活動の様子が表れていました。また、全校児童が約20名と小規模校ながら、一乗小学校のたくさんの絵や習字の作品が展示されていて、地域の中の学校であることがよくわかりました。2時間という短い時間でしたが、楽しい充実した時を過ごすことができました。

河合公民館 運審委員長 近間 洋紀

一乗公民館に視察訪問させていただきました。まずは立派な建物に驚きました。とても公民館とは思えない古民家調の趣のある建築物です。旧一乗ふるさと交流館を公民館として活用する様になったとの事です。設備も充実しており羨ましい限りです。

また、公民館の各事業も素晴らしく、地域の方の為に様々な活動がされています。地域のコミュニティの中心として取り組まれている姿に感心いたしました。私共の地区でも参考にさせていただきます。

今後とも地区内外のコミュニティとしての活動を期待しております。とても充実した視察訪問になりました。ありがとうございました。

円山公民館 運審委員長 春木 麻紀子

まずは一乗公民館の立派な外観に目を奪われ、一歩足を踏み入ると素晴らしい建築仕様！「ふるさと交流館」からの転用と伺ったが高い天井と子どもが抱えきれないほどの太い梁。歴史を感じさせる各種調度品。意匠を凝らした活動ルームや立派な厨房を持つ調理室等、多目的ホールには地区児童の作品が多く飾られ地域住民から深く愛されている公民館の様子が伺え「つどう・まなぶ・むすぶ」の館スローガンそのままに住民との繋がりの強さを感じられました。特に小中生徒との連携が難しい昨今。見習うことが多かったです。更に一乗谷の歴史を学ぶ「清流大学」、老若男女を問わず参加が有り地区への愛着を育む良い施策だと思いました。また環境教育事業としての「せせらぎ学級」など全ての世代に向けた活発な事業展開にたいへん感心し、学ぶ事が多く実りある研修でした。関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

本郷公民館 運審委員長 東谷 正行

一乗地区は平成16年の福井豪雨の際、甚大な被害に遭い地区の主幹道路はもとより、一乗小学校に隣接していた公民館は1階付近が完全に土砂に埋まってしまったそうです。そこで、一乗ふるさと交流館を公民館として併用しながら、一乗地区活性化施設建設推進委員の皆様の努力により今では素晴らしい公民館として生まれ変わりました。一見、喫茶店風のお土産物屋さんみたいな誰でも気軽に入れそうな建物で、玄関に入ると一乗地区の年表が掲示され古代文明から現在に至る歴史が書かれています。中の施設も充実しており、ゆったりとした空間が漂っていました。一乗地区、7つの地域性を生かした教育事業の写真や展示物が掲示されていました。9月末には彼岸祭(文化祭)で地域住民がにぎわうそうです。最後に一乗コーヒをご馳走になり、とても美味しかったです。皆様も一度ご賞味あれ！

最後に小林館長、吉川委員長の親切丁寧な対応に感謝申し上げますとともに今後の一乗公民館の活躍と一乗地区の発展をお祈りしております。



一乗公民館
視察訪問
当日の様子